

ピーク日の渋滞回避ポイント

渋滞予測ガイドを活用し、出発時間を決めれば渋滞を回避できます。

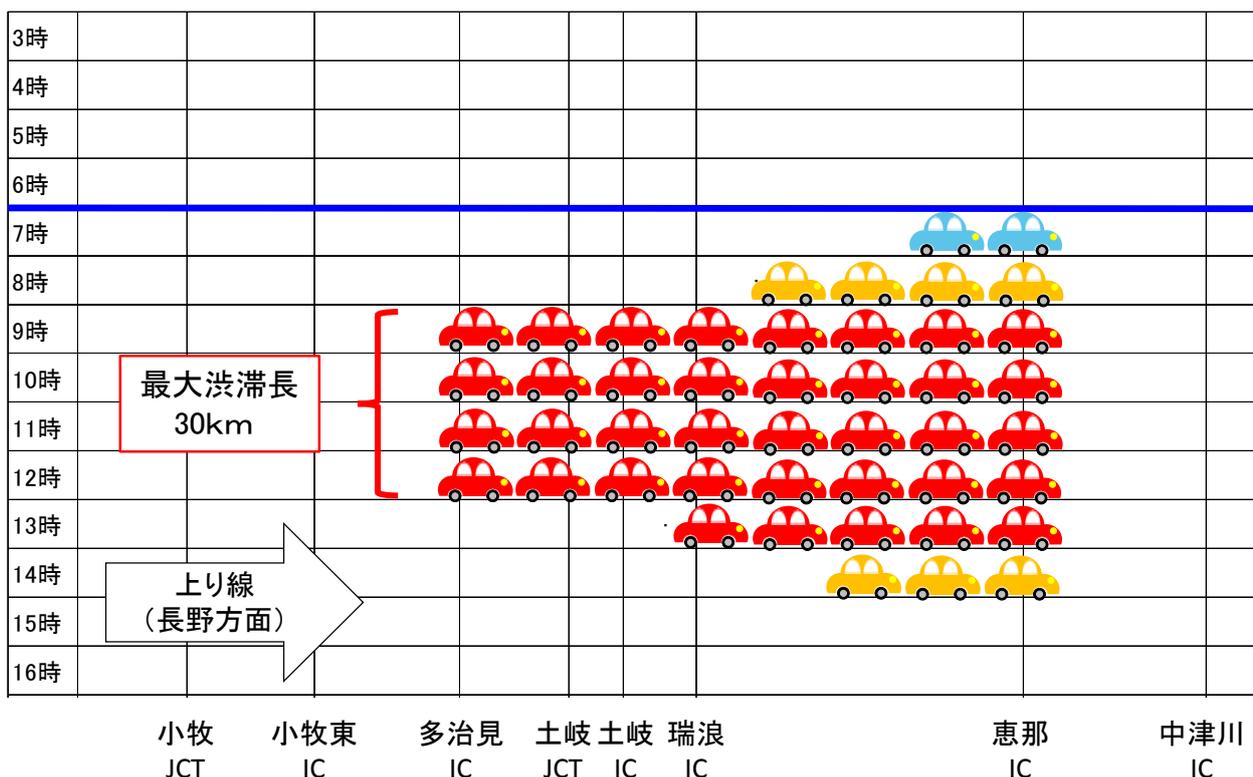
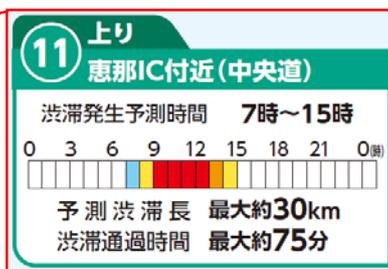
- ①渋滞予測ガイドを見て、お出かけする日の渋滞する時間と IC 間を確認します。
- ②ナビアプリなどで出発地から渋滞する IC までの所要時間を確認し、渋滞発生前に通過できるように出発時間を決定します。

<8月13日(日) 中央道(上) の例>



たとえば、名古屋 IC から中津川 IC まで、高速道路を利用する場合、

- ①渋滞予想では、7時～15時で恵那 IC 付近を先頭に最大 30km となっています。
- ②渋滞が発生する恵那 IC 付近を午前 7 時までに通過するには、名古屋 IC から恵那 IC まで約 45 分かかるため、午前 6 時過ぎに出発すればよいということになります。



今年の渋滞予測の根拠

高速道路ドライブアドバイザーは、過去の渋滞状況、最近の渋滞状況、イベント、周辺企業の休みなどを考慮し、ひとつひとつ渋滞を予測しています。

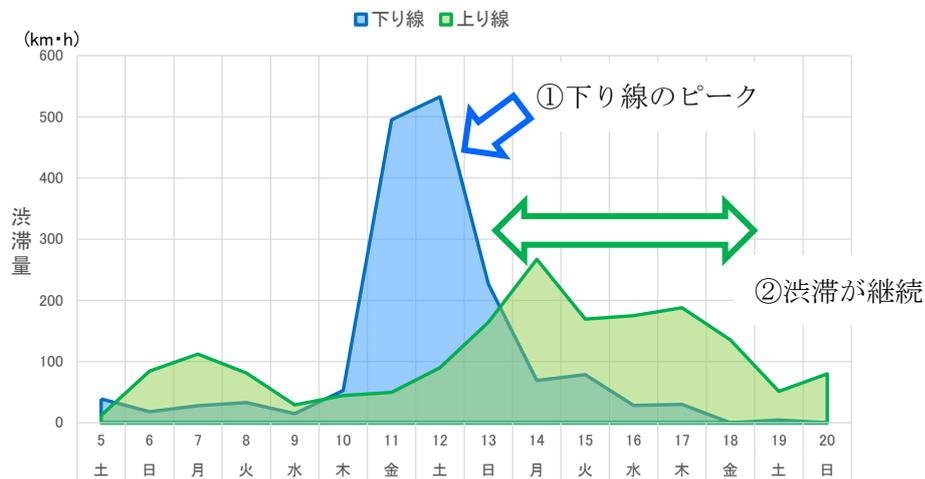
同じ曜日配列であった2006年の混雑状況と同様な傾向になる見込みです。



たとえば、2006年の名神高速道路の混雑状況を確認すると

- ①下り線は12日（土）がピーク
- ②上り線は14日（月）がピークで、ピーク以降も普段より大きな渋滞が継続していました。そのため、今年も同様な傾向となる見込みです。

2006年 名神高速道路の渋滞実績



$$\text{※渋滞量} = \text{最大渋滞長 (km)} \times \text{渋滞時間 (h)} \div 2$$

イベント、周辺企業の休みをチェックし、予測に反映しています。



- ① 自動車関連企業の休みは12日（土）～20日（日）のため、お盆後半も大きな渋滞が発生する見込みです。
- ② 東名阪（上）四日市IC付近は3車線（暫定）運用を開始したため、渋滞も若干小さくなると予測しています。
3車線（暫定）運用区間を先頭とした渋滞発生は予測していません。
- ③ 高速道路が混雑する恐れのある大きなイベントはありません。

高速道路ドライブアドバイザーとは

NEXCO 中日本の各支社に1人だけいる、高速道路の渋滞予測のプロ。渋滞の予測をもとに、ドライバーの皆さまに渋滞を回避していただけるよう、さまざまな情報を発信していきます。

【参考】県別の最も長い渋滞が予測される箇所

<愛知県>

	方向	路線	渋滞発生地点	渋滞ピーク日	最大渋滞長	備考
①	上り	E1 名神高速道路	一宮IC付近	8/13(日)~8/18(金)	20km	高山方面から (東海北陸経由)
					10km	
②	下り	E1 名神高速道路	尾西BS付近	8/11(金)~8/12(土)	25km	高山方面から (東海北陸経由)
					10km	

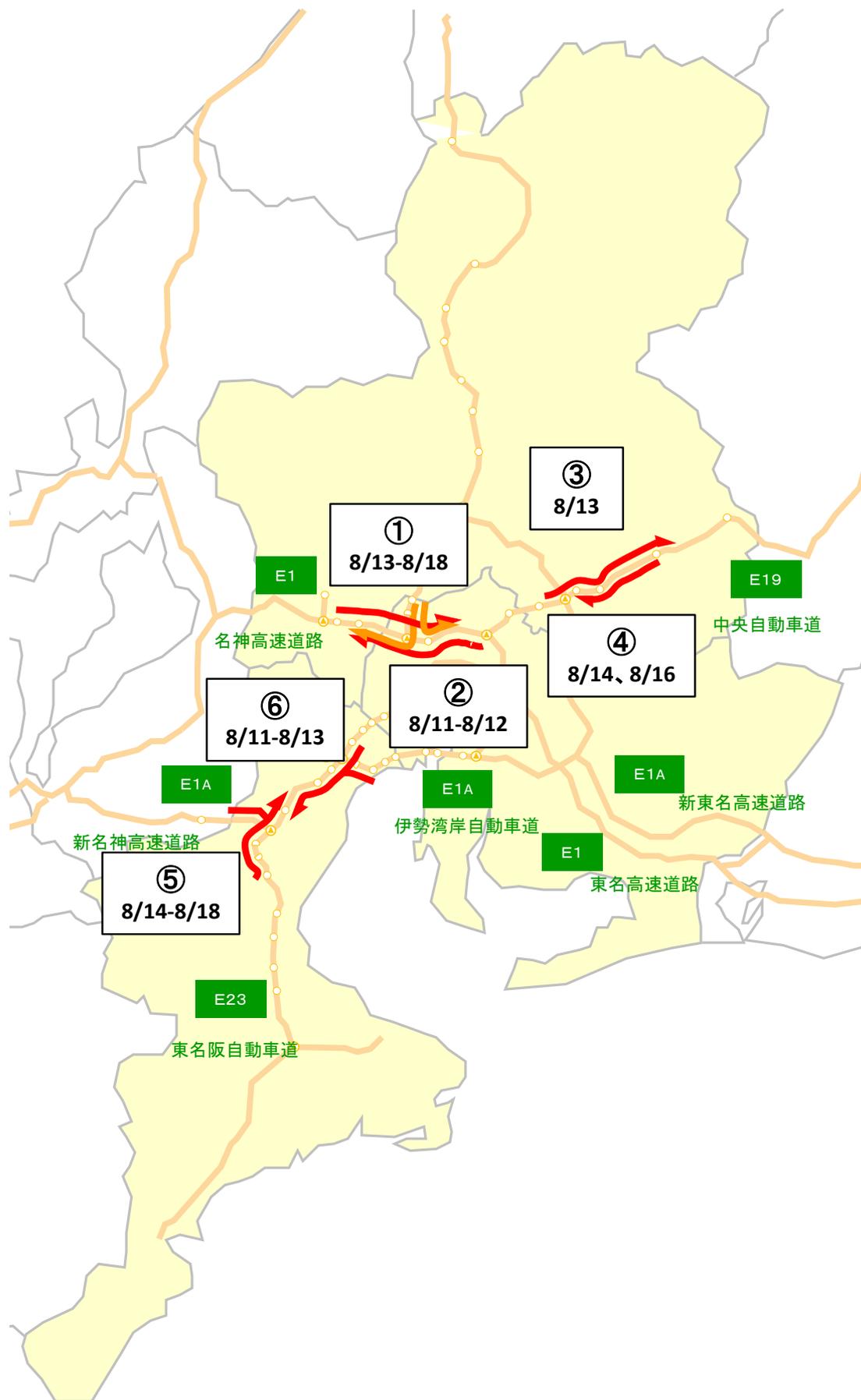
<岐阜県>

	方向	路線	渋滞発生地点	渋滞ピーク日	最大渋滞長	備考
③	上り	E19 中央自動車道	恵那IC付近	8/13(日)	30km	
④	下り	E19 中央自動車道	土岐IC付近	8/14(月)、8/16(水)	20km	

<三重県>

	方向	路線	渋滞発生地点	渋滞ピーク日	最大渋滞長	備考
⑤	上り	E23 東名阪自動車道	鈴鹿IC付近	8/14(月)~8/18(金)	20km	大阪方面から (新名神経由)
					15km	
⑥	下り	E23 東名阪自動車道	鈴鹿IC付近	8/11(金)~8/13(日)	20km	静岡方面から (伊勢湾岸経由)
					25km	

※ジャンクション経由した場合、渋滞長を合計した数字となっています。



※【参考】県別の最も長い渋滞が予測される箇所を示しています。